

資料編

1. 環境教育・環境学習の数値目標設定事例

都道府県における環境教育・環境学習の数値目標設定事例

青森県	こどもエコクラブ会員数:800人、総合学習で環境をテーマに学習活動を行っている 小・中学校の割合(21)65%、川のスクールアダプト推進事業実施校:6校
岩手県	県民のエコライフ活動実施率
秋田県	こどもエコクラブの登録数
山形県	山形県環境学習支援団体人定数9(H17) 30(H27)等
福島県	各種環境教育講座の受講者数や環境関連指導者の任定数。
茨城県	県HP「環境いばらき」アクセス数、環境学習、環境保全全活動年間参加数
群馬県	中学校卒業までに1人1回「尾瀬学校」を体験する
埼玉県	企業のノウハウを導入して環境学習を実施する学校
千葉県	県で行う環境学習講座等への参加者人数25,000名
東京都	キッズISOは150校10000人の参加
神奈川県	マイアジェンダ登録(自ら環境配慮に向けた自主的な取組を登録すること)学校数
新潟県	子供エコクラブ会員数 環境学習施設の来館総数
富山県	ナチュラリスト(自然解説員)の認定者数 607人(H17) 780人(H27)
福井県	こどもエコクラブ参加数 学校の総合的な学習の時間における環境教育の取組み
山梨県	学習プログラム参加人数
長野県	自然観察会への参加者数、こどもエコクラブの登録数など
岐阜県	環境学習地域ボランティア人材登録人数、平成22年度末120人 こどもエコクラブ登録数、平成22年度末70クラブ・2300人
静岡県	環境リーダーの数 学校における環境教育・環境学習の実施率
三重県	環境教育参加者数(環境学習情報センターの指導者養成講座や環境講座、体験教室、社会見学、イベント等の環境教育に参加した人数)
滋賀県	県民の環境美化活動への参加率、買い物袋を持って買い物に行く県民の割合
京都府	環境家計簿の普及7000世帯以上 地球温暖化防止活動推進員委嘱200名以上
大阪府	こどもエコクラブの登録クラブ数
和歌山県	環境学習アドバイザー派遣回数:50回以上/年自然観察会等開催数:32回以上/年
鳥取県	環境教育施設の利用者数など環境教育・学習参加者数を20万人以上とする。
岡山県	エコツアーの参加人数、環境学習リーダーの登録
広島県	環境学習指導者数
山口県	環境学習参加者数30000(目標値等 H22年度)
徳島県	学校版環境ISO取組校数、環境アドバイザー派遣回数/受講者
香川県	環境学習支援ネットワーク登録者数について、指導者を100人、団体数を50団体(いずれも平成22年度目標)を数値目標に設定している。
佐賀県	こどもエコクラブ参加者数、地球と仲よし園認定数
長崎県	こどもエコクラブ数:H21(100クラブ)・こどもエコクラブ会員数:H21(2000人)
熊本県	平成22年までに、県内全小中学校において、学校版ISOコンクールに参加する。
宮崎県	・環境保全アドバイザー講座受講者数 H22=5000人 ・環境情報センター利用者数 H22=10000人
鹿児島県	平成22年までに全市町村にこどもエコクラブを設置
沖縄県	地球環境センター利用者数、講習会等参加者数

政令指定都市における環境教育・環境学習の数値目標設定事例

札幌市	本庁が所有する環境に関連する施設の利用者数の合計を定量目標項目として設定している
千葉市	ごみ分別スクールを市内小学校全校で実施
横浜市	・子ども省エネ大作戦への参加学校数 ・環境教育「出前講座」の実施数(100回/年)
新潟市	環境教育副読本で学習した児童・生徒数、地球環境図画コンクールの応募数、こどもエコクラブの会員数、環境フェア参加人数など
静岡市	人づくり、機会づくり、場所づくり、情報提供、普及啓発、連携、協力についてシェアド・アウトカムを設定
名古屋市	環境問題に関する講演会やセミナーに参加する人の割合(H15:14.4% H22:20%)
大阪市	平成18年度から21年度までの4年間で大阪市立環境学習センターへの来館者数100万人を達成することでより多くの人々の環境学習機械を提供するよう努めている。
神戸市	こどもエコクラブの結成:目標200,エコ市民アドバイザー登録数:目標100,エコ市民ネットワーク登録者数:1000人
広島市	環境サポーターの活動回数
北九州市	環境学習サポーター数、環境家計簿参加者数、自然環境サポーター数など
福岡市	平成18年7月に策定した福岡市環境教育、学習計画(第2次)において事業ごとのパフォーマンス指標(イベントの参加者数など)と意識指標を掲げている。

東京23区における環境教育・環境学習の数値目標設定事例

新宿区	指導者養成講座修了者などが行う出前講座(学校への出前授業等)を年50回開催する。
台東区	・各種環境学習講座等への参加人数...1000人/年(目標値平成21年度) ・環境学習の機会に対する区民の満足度...60,0%(目標値平成21年度)
墨田区	各種講座の年間開催回数及び参加者数、環境学習施設への年間来館者数
目黒区	モデル事業(6分野)、公募事業(5分野)の実施
杉並区	区民主体の活動母体数=平成22年度までに30母体。専門教材による環境学習参加者=平成22年度までに3000名
板橋区	エコポリスセンターホームページのアクセス件数 プログラムバンクの利用学校数 プログラムバンクの登録人数 プログラムバンクの登録プログラム数 いたばしエコ・ショップの店舗数 環境保全キャンペーン参加者数 エコチェックシートの得点 小・中学校における環境学習の件数 環境講座等参加者数(内 エコポリスセンター環境講座等参加者数) 環境イベント等参加者数(内 エコポリスセンター環境イベント等参加者数) エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数 エコポリスセンター登録環境団体数 こどもエコクラブ登録団体数 集団回収登録団体数 環境学習講師派遣実施件数・派遣人数
練馬区	エコライフチェック事業における参加目標人数の設定
足立区	・環境保全活動、環境教育プログラム数、拠点施設のホームページアクセス数等環境情報関連。 ・環境保全活動、環境教育研修開催回数、キッズISOプログラム実施者数、環境啓発講座への参加者数、環境活動リーダー数等、人づくり関連 ・環境イベント参加者数等、活動の場づくりと活用関連 ・花いっぱい運動取組学校数、農業体験学習参加者数等、学校や事業者との協働関連 ・環境関連協働事業数、提案型協働事業採用件数等、協働取組の仕組みづくり関連